

北海道留萌管内地域公共交通計画
(地域公共交通の現状)
(各種調査結果)



北海道留萌管内地域公共交通計画 (地域公共交通の現状)





目次

1 地域公共交通の現状.....	1
1-1 鉄道交通.....	2
1-2 市町村を跨ぐバス交通.....	3
(1) 留萌管内のバスネットワーク.....	3
(2) 高速バス.....	4
(3) 地域間幹線系統.....	5
(4) 広域生活路線.....	6
(5) 市町村単独補助路線.....	7
1-3 フェリー.....	9
1-4 タクシー.....	10
1-5 その他の交通資源.....	11
(1) 各市町村内で運行している公共交通ネットワーク.....	11
(2) 各市町内で運行しているその他の輸送資源.....	13
1-6 地域内の公共交通利用に関する取組.....	14





1 地域公共交通の現状



1-1 鉄道交通

① 運行の実態

本地域では、北海道旅客鉄道株式会社(JR 北海道)が運行する「JR 留萌本線」が運行しており、留萌駅から深川方面、旭川方面に運行しています。

しかし、JR 留萌本線は 2016(平成 28)年に北海道旅客鉄道株式会社が「当社単独では維持することが困難な線区」と公表し、2022(令和 4)年 7 月には、石狩沼田—留萌間を 2023 年(令和 5)年 3 月、深川—石狩沼田間を 2026(令和 8)年 3 月末に廃止することで、沿線自治体と合意しています。

表 1-1 留萌線の運行状況

運行主体	路線名	区間		便数		所要時間
JR 北海道	留萌本線 (留萌～深川)	自	深川	上	6 便	約 57 分
		至	留萌	下	6 便	約 56 分
	留萌本線 (留萌～旭川)	自	旭川	上	1 便	約 111 分
		至	留萌	下	1 便	約 107 分

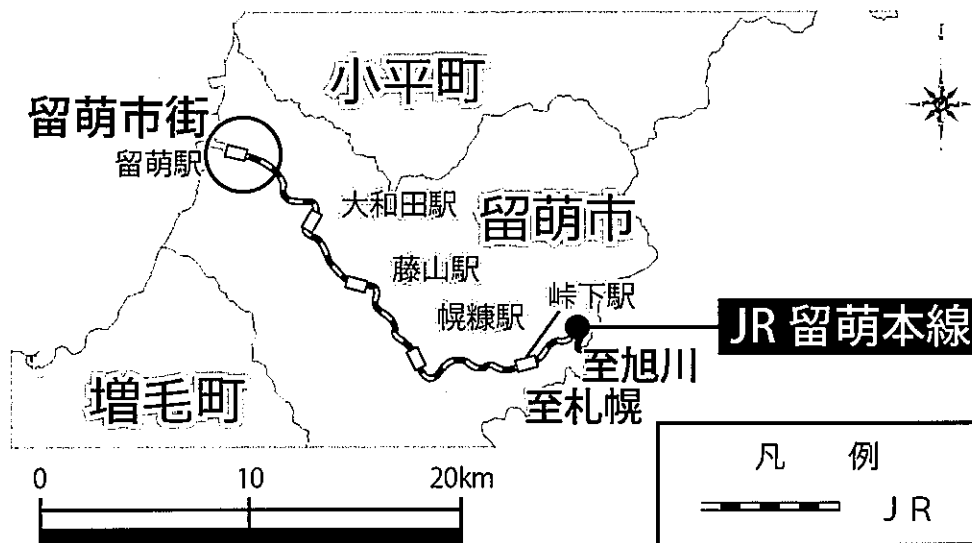
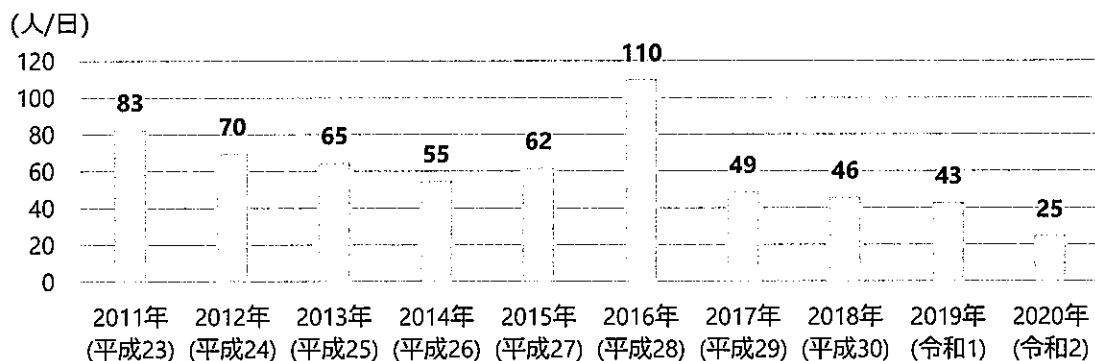


図 1-1 地域内の鉄道の運行状況

② 利用者数の推移

留萌駅の乗客数は 2017(平成 29)年以降 50 人を下回っています。また、2020(令和 2)年には新型コロナウイルスの影響で 25 人となっています。



資料:2021(令和 3)年留萌市統計書

図 1-2 留萌駅の乗降客数の推移

1-2 市町村を跨ぐバス交通

(1) 留萌管内のバスネットワーク

本地域の市町村を跨ぐバスネットワークは下図となっています。

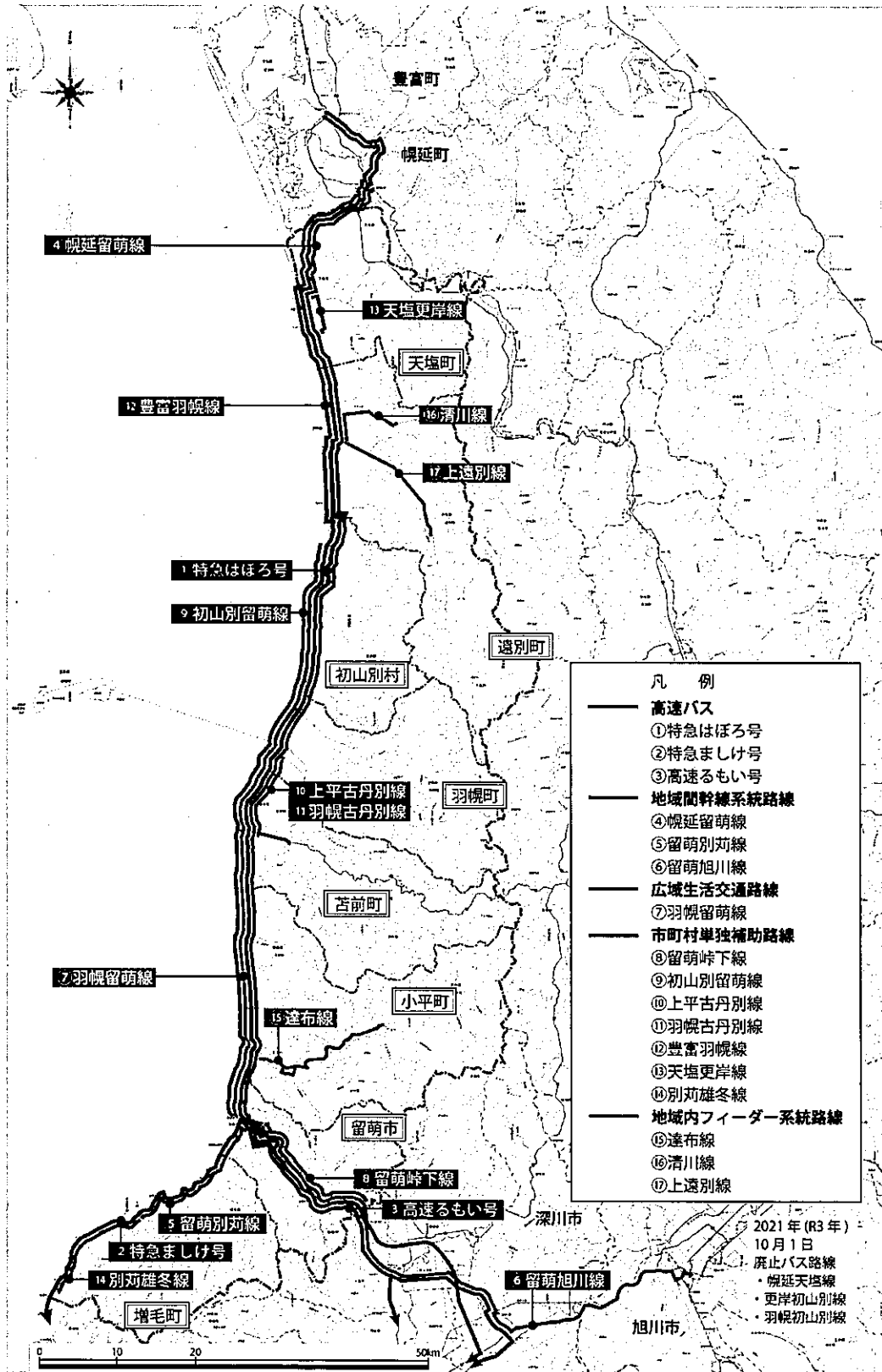


図 1-3 市町村を跨ぐバスネットワーク

(2) 高速バス

① 運行の実態

本地域で発着する高速バスは沿岸バス株式会社の特急はぼろ号、特急ましけ号、北海道中央バス株式会社の高速るもい号(3系統)が運行しています。

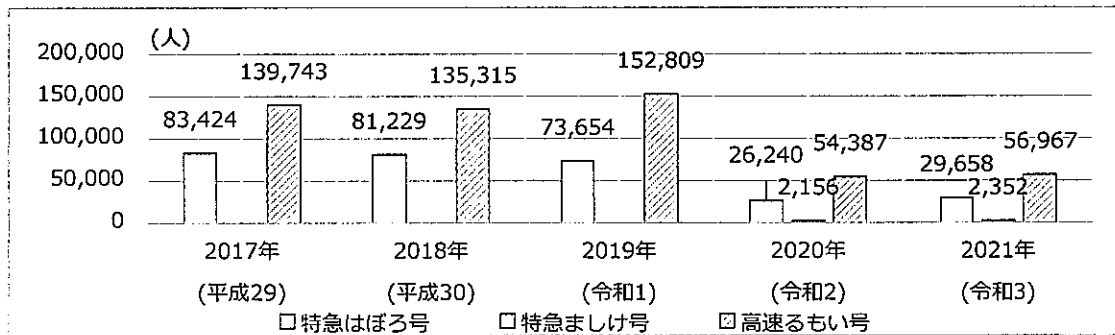
表 1-2 都市間バスの運行状況

運行主体	路線名	区間	便数	所要時間	備考
沿岸バス株式会社	特急はぼろ号	自 札幌駅前	上 4便	約 310分	
		至 豊富	下 4便	約 304分	
	特急ましけ号	自 札幌駅前	上 1便	約 107分	月・水・金のみ運行
		至 留萌	下 1便	約 111分	
北海道中央バス株式会社	高速るもい号(滝川経由)	自 札幌	上 3便	約 159分	
		至 留萌	下 3便	約 290分	
	高速るもい号(深川経由)	自 札幌	上 4便	約 174分	
		至 留萌	下 3便	約 281分	
	高速るもい号(直行便)	自 札幌	上 1便	約 139分	
		至 留萌	下 0便	—	

資料:沿岸バス株式会社、北海道中央バス株式会社

② 利用者数の推移

高速バスの年間利用者数は 2019(令和元)年度までは概ね横ばいに推移しています。特急ましけ号は 2020(令和2)年度から運行が開始しており、年間約 2,000 人超が利用しています。一方、2020(令和2)年度には新型コロナウイルスの影響で運休を行っており、大幅に減少しています。

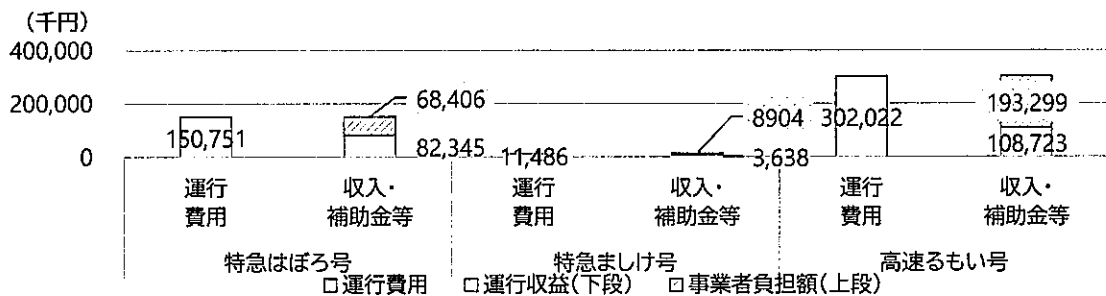


資料:沿岸バス株式会社、北海道中央バス株式会社

図 1-4 高速バスの乗降客数の推移

③ 収支の状況

各路線の収支では特急るもい号の事業者負担額が大きく年間約 2 億円となっています。



資料:沿岸バス株式会社、北海道中央バス株式会社

図 1-5 高速バスの収支状況(2021(令和3年))

(3) 地域間幹線系統

① 運行の実態

本地域では、地域間の交通として沿岸バス株式会社の幌延留萌線、留萌別苅線、留萌旭川線が運行しています。

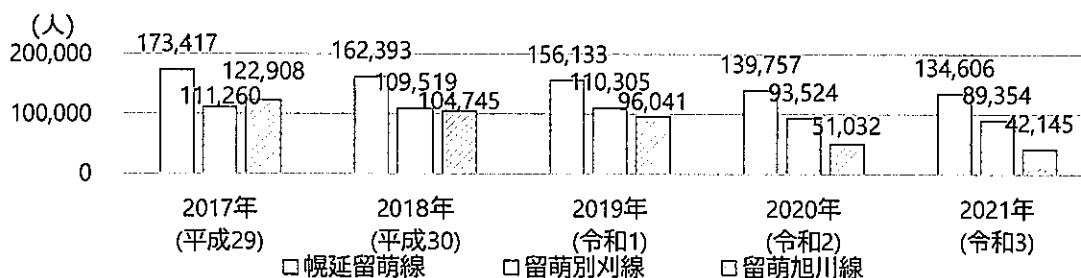
表 1-3 地域間幹線系統の運行状況

運行主体	路線名	区間	便数		便数		所要時間
			(平日)	(土日)	(平日)	(土日)	
沿岸バス株式会社	幌延留萌線	自 留萌市立病院	上	5便	上	3便	約308分
		至 豊富駅	下	6便	下	3便	約305分
		自 留萌市立病院	上	3便	上	2便	約288分
		至 幌延深地層研究センター前	下	2便	下	2便	約221分
	留萌別苅線	自 留萌市立病院	上	9便	上	9便	約60分
		至 大別苅	下	9便	下	9便	約60分
沿岸バス株式会社/ 道北バス	留萌旭川線	自 留萌十字街	上	5便	上	5便	約130分
		至 旭川駅前	下	5便	下	5便	約130分

資料:沿岸バス株式会社

② 利用者数の推移

地域間幹線系統の年間利用者数はどの路線も右肩下がりとなっています。また、2020(令和2)年には新型コロナウイルスの影響で1万人以上減少している路線もあります。

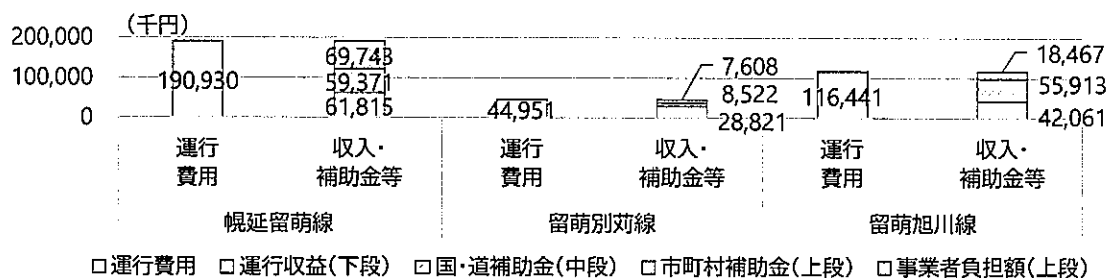


資料:沿岸バス株式会社

図 1-6 地域間幹線系統の乗降客数の推移

③ 収支の状況

幌延留萌線、留萌別苅線の市町村負担額が約7千万円となっています。



資料:沿岸バス株式会社

図 1-7 地域間幹線系統の収支状況(2021(令和3)年)

(4) 広域生活路線

① 運行の実態

本地域では、広域生活路線として羽幌留萌線が運行しています。

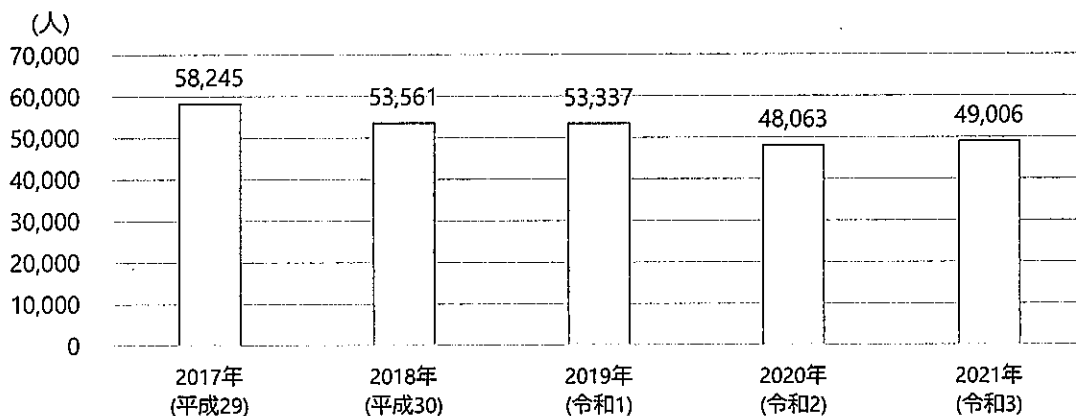
表 1-4 広域生活路線の運行状況

運行主体	路線名	区間	便数 (平日)		便数 (土日)		所要時間
			上	下	上	下	
沿岸バス株式会社	羽幌留萌線	自 留萌市立病院	上	3便	上	3便	約100分
		至 羽幌ターミナル	下	3便	下	3便	約93分

資料:沿岸バス株式会社

② 利用者数の推移

広域生活路線である羽幌留萌線は、年々減少していますが、新型コロナウイルスによる減少は他の路線と比較すると影響は小さく、約5万人の利用者がいます。

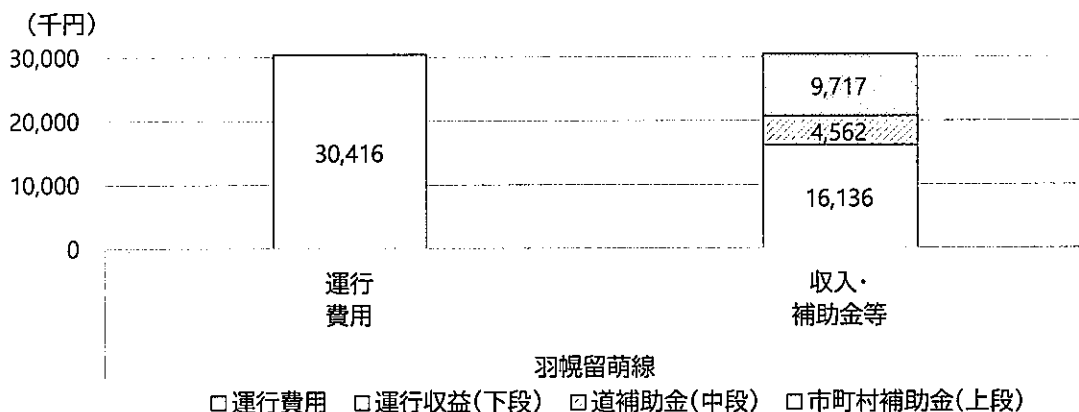


資料:沿岸バス株式会社

図 1-8 広域生活路線の乗降客数の推移

③ 収支の状況

路線の収支状況は、運行収益で半分以上(収支率約53%)を賄っていますが、一方で市町村の負担額も約1千万円となっています。



資料:沿岸バス株式会社

図 1-9 広域生活路線の収支状況(2021(令和3)年)

(5) 市町村単独補助路線

① 運行の実態

市町村を跨ぐ市町村単独補助路線として、留萌峠下線、初山別留萌線、上平古丹別線、羽幌古丹別線、豊富羽幌線、天塩更岸線、別苅雄冬線が運行しています。初山別留萌線と豊富羽幌線は羽幌—初山別間で、初山別留萌線と羽幌古丹別線は苫前—羽幌間で、上平古丹別線と羽幌古丹別線は古丹別—上平間で運行区間が重複している状況となっています。

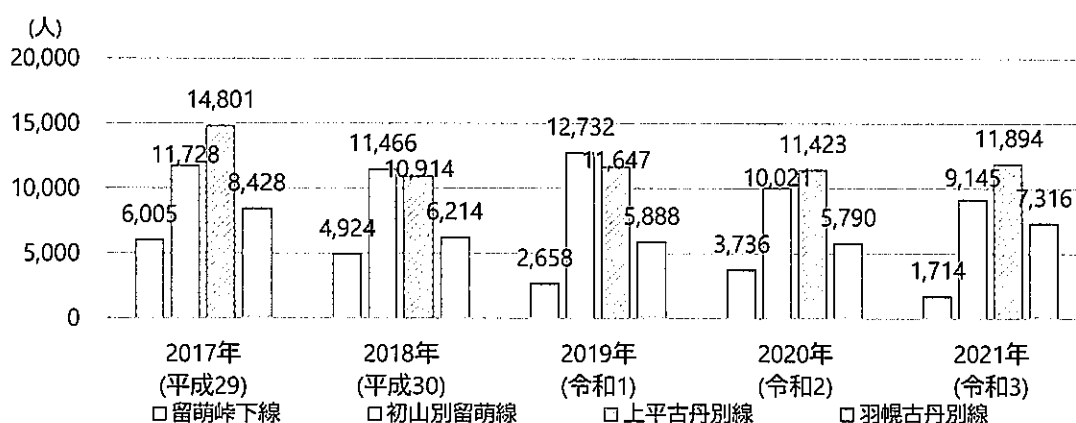
表 1-5 市町村を跨ぐ市町村単独補助路線の運行状況

運行主体	路線名	区間	便数		所要時間		
			(平日)	(土日)			
沿岸バス株式会社	留萌峠下線	自 留萌十字街	上	1便	上	1便	約45分
		至 峠下分岐点	下	1便	下	1便	約50分
	初山別留萌線	自 留萌市立病院	上	1便	上	1便	約137分
		至 初山別北原野	下	0便	下	0便	—
	上平古丹別線	自 上平	上	6便	上	6便	約10分
		至 古丹別	下	6便	下	4便	約10分
	羽幌古丹別線	自 羽幌ターミナル	上	1便	上	1便	約38分
		至 古丹別	下	1便	下	1便	約38分
	豊富羽幌線	自 羽幌ターミナル	上	0便	上	0便	—
		至 豊富駅	下	1便	下	1便	約175分
	天塩更岸線	自 天塩高校前	上	4便	上	4便	約16分
		至 乙和園	下	3便	下	3便	約16分
	別苅雄冬線	自 多別苅	上	3便	上	3便	約25分
		至 雄冬	下	3便	下	3便	約17分

資料：沿岸バス株式会社

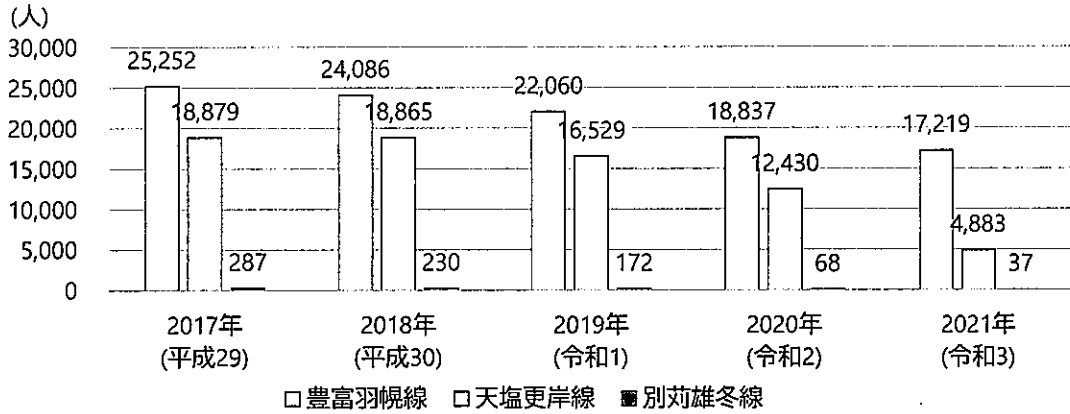
② 利用者数の推移

上平古丹別線、羽幌古丹別線は 2018 年以降微増、あるいは横ばい傾向ですが、他のバス路線については、新型コロナウイルスの影響もあり減少傾向です。



資料：沿岸バス株式会社

図 1-10 市町村単独補助路線の乗降客数の推移(1/2)

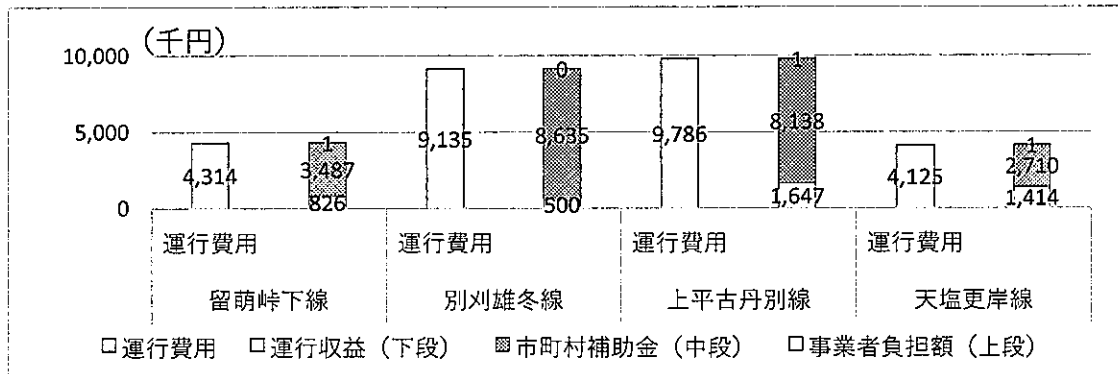


資料:沿岸バス株式会社

図 1-11 市町村単独補助路線の乗降客数の推移(2/2)

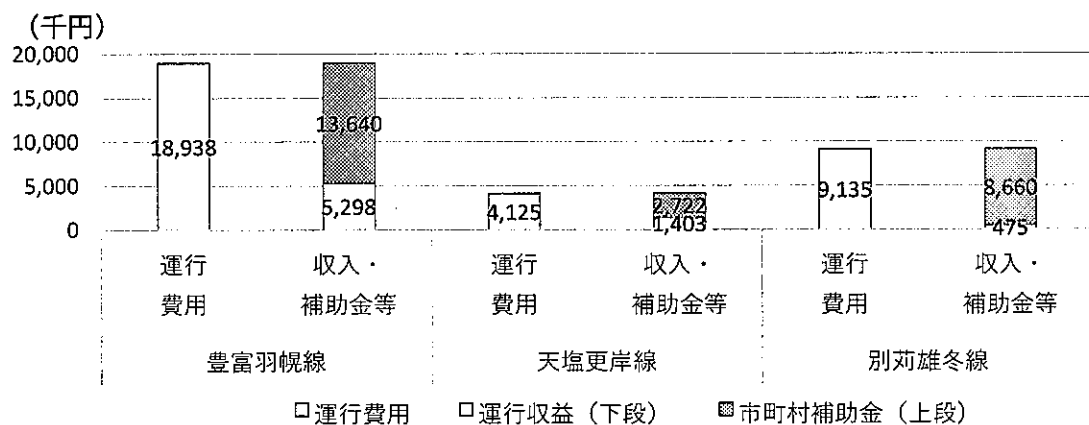
③ 収支の状況

収支としては豊富羽幌線の市町村補助額が一番高く約 1,400 万円となっており、上平古丹別線(約 910 万円)、別苺雄冬線(約 870 万円)と続いています。



資料:沿岸バス株式会社

図 1-12 市町村単独補助路線の収支(2021(令和3)年)(1/2)



資料:沿岸バス株式会社

図 1-13 市町村単独補助路線の収支(2021(令和3)年)(2/2)

1-3 フェリー

羽幌町では、羽幌町と天売島、焼尻島を結ぶ羽幌沿海フェリーが運航しています。

表 1-6 羽幌沿海フェリーの運行状況

運行主体	路線名	区間		便数 (平日)	便数 (土日)	所要時間
羽幌沿海 フェリー 株式会社	羽幌沿海 フェリー	自	羽幌	期間により変動 【A. お盆期間など繁忙期】 ・6往復 【B. 7/1~お盆の土日祝日】 ・5往復 【C. GW期間とBの平日】 ・4往復 【D. 他の期間】 ・1往復		約 60 分
		至	天売・焼尻			約 60 分

資料:羽幌沿海フェリー株式会社

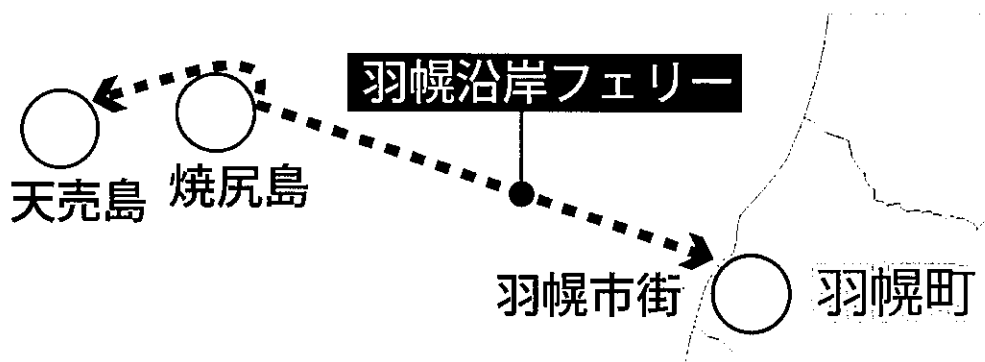
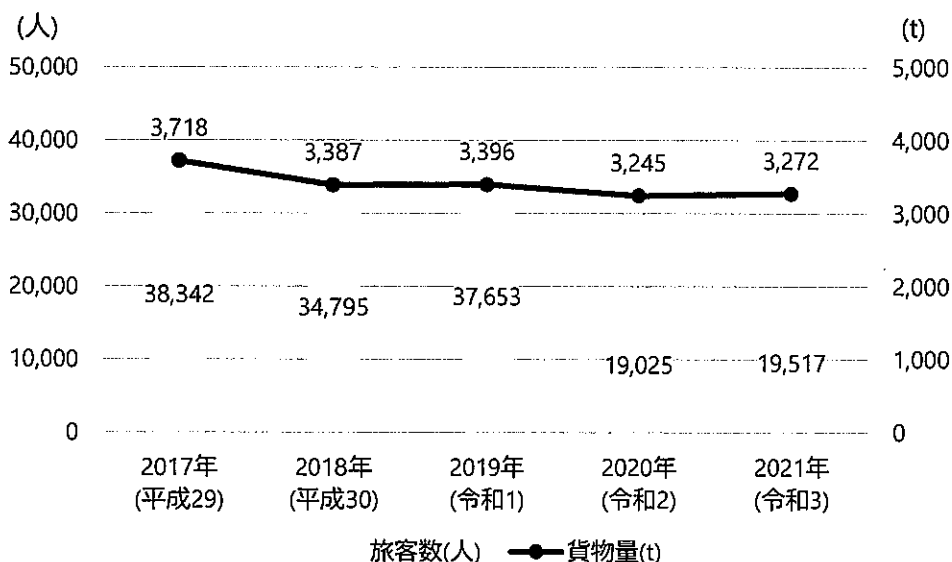


図 1-14 フェリーの運行状況



資料:羽幌沿海フェリー株式会社

図 1-15 旅客数・貨物量の推移

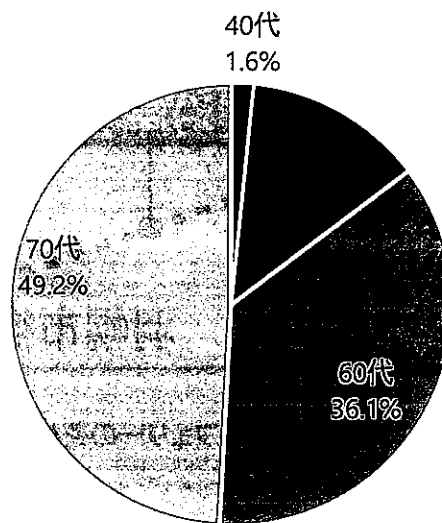
1-4 タクシー

地域内では6社のタクシー・ハイヤー会社が運航しています。また、運転手は約半数が70代であり、残りの半数も40代以上で構成されていることから、将来の運転手不足が懸念される状況となっています。

表 1-7 タクシー各社の所有台数

事業者名	所在地	車両数
小嶋交通	留萌市	小型 29 台、特殊大型 2 台
小平ハイヤー	小平町	小型 1 台
大衆ハイヤー	苫前町	小型 2 台
沿岸ハイヤー	羽幌町	小型 4 台
共和ハイヤー	羽幌町	小型 2 台
北星ハイヤー	遠別町	小型 1 台、大型 1 台

資料：各ハイヤー・タクシー会社



資料：各ハイヤー・タクシー会社

図 1-16 ハイヤー・タクシー運転手の年齢構成

1-5 その他の交通資源

(1) 各市町村内で運行している公共交通ネットワーク

本地域の市町村内を運行している公共交通ネットワークは以下の通りであり、概ね各自治体において地域内で輸送を支援する交通を整備している状況です。

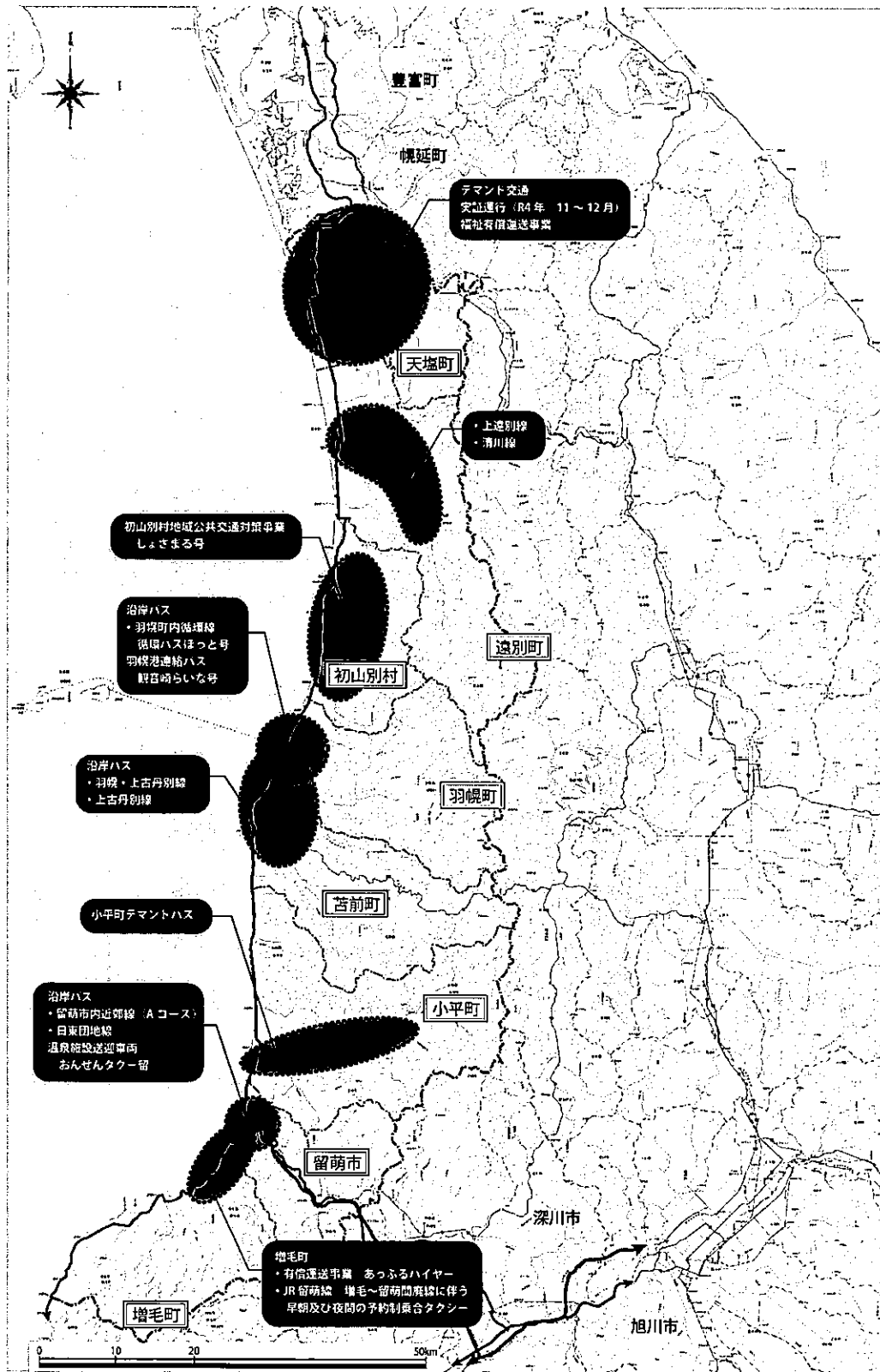


図 1-17 各市町村内で運行している公共交通ネットワーク

各市町村内で運行している公共交通は以下の通りです。

表 1-8 各市町村内で運行している公共交通(1/2)

市町村	名称	運行主体	運行概要	運行便数	運賃
留萌市	留萌市内近郊線 Aコース	沿岸バス (株)	大町2丁目～留萌駅前～留 萌市立病院～潮静3丁目 (路線運行)	平日 往路 11 便、復路 11 便 休日 往路 6 便、復路 6 便	大人 220 円 小児 110 円
	日東団地線	沿岸バス (株)	見晴町4丁目～留萌駅前～ 留萌市立病院(路線運行)	平日のみ運行 往路 2 便、復路 2 便	大人 220 円 小児 110 円
	温泉施設送迎車 両おんせんター 留	小嶋交通 (株):委託	るもいプラザから神居岩温 泉まで (路線運行)	火・木曜日 往路 1 便、復路 1 便	150 円
増毛町	有償運送事業 あつがるハイヤー	増毛町	増毛町内全域(電話予約に より運行するデマンド運行)	平日のみ予約に応じて運行 9時～17 時	初乗り 300 円 (1.7km) 1.7 ごとに 100 円 加算
	JR 留萌線 増毛 ～留萌間廃線に 伴う早朝及び夜 間の予約制乗合 タクシー	小嶋交通 (株)	JR 留萌線の早朝便と夜間 便とのアクセス交通として の予約型の乗合タクシー	早朝 1 便(6:40 留萌駅に乗 継ぎ) 夜間 2 便(20:30 と 21:15 留 萌駅に乗継)	200～400 円
小平町	小平町デマンド バス	てんてつバ ス(株)	達布・滝下方面 (電話予約による自宅前送 迎)	平日 往路 4 便、復路 7 便 休日 往路 2 便、復路 2 便	地区間距離に応じ た 運賃設定 200～500 円
苫前町	羽幌・上古丹別線	沿岸バス (株)	羽幌ターミナル～古丹別 (路線運行)	往路 1 便 復路 1 便	停留所間距離に応 じて 170～610 円 小児運賃は半額
	上古丹別線	沿岸バス (株)	上平～古丹別(路線運行)	往路 6 便 復路 6 便	大人 170 円 小児 90 円
羽幌町	羽幌町内循環線 循環バスほっと 号	沿岸バス (株)	Aコース:川北先回り Bコース:柴町先摩回り (路線運行)	平日のみ Aコース:3 便 Bコース:1 便	大人 100 円 小児 50 円
	羽幌港連絡バス 観音崎らいな号	沿岸バス (株)	沿岸バス本社ターミナル～ 羽幌フェリーターミナル (路線運行)	6～8 月(7 月の平日、お盆除 く) ・往路 2 便 復路 4 便 7 月の土日 ・往路 3 便 復路 5 便 お盆(8/13～15) ・往路 4 便 復路 6 便	大人 200 円 小児 100 円
初山別 村	初山別村地域公 共交通対策事業 (車両の愛称 「しよさまる号」)	初山別村 (社会福祉 協議会へ 委託)	村内を3地区に分け、地区 内・地区間を個別輸送 普通自動車2台によりドア to ドア輸送	9 時～17 時の時間帯で予 約に応じて輸送	地区内:100 円 地区間:200 円

表 1-9 各市町村内で運行している公共交通(2/2)

市町村	名称	運行主体	運行概要	運行便数	運賃
遠別町	遠別町	上遠別線	遠別町 (株)北星観光へ委託	30号～市街地(予約に応じた路線運行で、市街地の11か所の停留所は乗降がある場合にアクセス)	平日 往路3便 復路3便 休日 往路1便 復路1便
	清川線	遠別町 (株)北星観光へ委託	清川～市街地(予約に応じた路線運行で、市街地の11か所の停留所は乗降がある場合にアクセス)	平日 往路3便 復路3便 休日 往路1便 復路1便	清川神社よりも遠方が 400円、他は200円
天塩町	デマンド交通 11月・12月実証運行	(有)みやび観光	町内全域を3区分して利用登録者の自宅と市街地に設定した10箇所の連絡施設の間を直接運行	1方面1週間当たり2日 1日あたり1往復	大人 200円 小児 100円
	福祉有償運送事業	天塩町社会福祉協議会	主に通院を目的とした利用に限るが、障害者については、余暇活動や通勤等に利用が可能。事前の予約により自宅から施設まで送迎を行う。	-	2,540円/30分未満～ 障がい者等は利用者負担1割以下

(2) 各市町内で運行しているその他の輸送資源

各市町村では、これまで述べた公共交通の他に、スクールバスや患者輸送バスの運行などを行っています。

表 1-10 各市町村内で運行しているその他の輸送資源(1/2)

市町村	名称	運行主体	運行事業者	利用対象者	備考
留萌市	へき地患者輸送事業	留萌市社会福祉協議会	同左	市内医療機関利用者	
	スクールバス	留萌市教育委員会	直営、沿岸バス(株)	小中学生	
	送迎バス	(株)加藤水産	同左	従業員	
	送迎バス	井原水産(株)	同左	従業員	
	送迎バス	(株)ヤマニ野口水産	同左	従業員	
増毛町	スクールバス	増毛町教育委員会	(合)ホクエツ	小中学生	
	送迎バス	岩尾温泉あつたま～るオーベルジュましけ	(合)ホクエツ	利用客	岩尾温泉(4～11月) オーベルジュ(12～3月)
小平町	スクールバス	小平町教育委員会	てんてつバス(株)、 (有)まるこ通商、 (有)本郷運輸	小中学生	
	送迎バス	小平町総合交流ターミナル ゆったりかん	同左	町民	2,3回/月

タクシーは？

表 1-11 各市町村内で運行しているその他の輸送資源(2/2)

市町村	名称	運行主体	運行事業者	利用対象者	備考
苫前町	スクールバス	苫前町教育委員会	(有)藤観光バス、 (合)ポーラー・スター	小中学生	
	患者輸送バス	苫前町社会福祉協議会	(有)藤観光バス	町内医療機関利用者	
	送迎バス	とままえ温泉 ふあっと	シダックス 大新東ヒューマンサービス (株)	利用客	
羽幌町	スクールバス	羽幌町教育委員会	沿岸バス(株)	小中学生・町民	
初山別村	スクールバス	初山別村教育委員会	(合)のあ	小中学生	
	送迎バス	初山別温泉 ホテル峠の湯 (初山別村振興公社)	同左	利用客	
遠別町	送迎バス	旭温泉	シダックス 大新東ヒューマンサービス (株)	利用客	
天塩町	スクールバス	天塩町教育委員会	(有)みやび観光	小中学生・町民	
	送迎バス	地域医療バス	(有)みやび観光	町民	

1-6 地域内の公共交通利用に関する取組

各市町では、公共交通の乗り方教室や職場訪問など、公共交通を身近に感じてもらうための取組を行っています。

表 1-11 公共交通に関する取組

学校名	取組	内容
留萌高等学校	インターンシップの実施	JR 留萌駅での点検業務体験等
苫前商業高等学校	就業前の訪問	羽幌沿海フェリーへの就業前の (けんがくか)
小平町	通学の安全指導	スクールバス通学児童を対象に 教員による安全指導の実施
遠別町	公共交通の乗り方指導の実施	各学級担任による乗り方指導の実施
	修学旅行	修学旅行の際に実際に児童が公共交通を利用